

令和4年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【技術（職業）・家庭】

掲載数

5

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 横須賀市立	中2	技術 (職業) ・家庭	生物福祉 生き物も人間と同じで痛みや苦しみを感じる。その生き物が快適に過ごせる環境を創り「尊重される命」を学ぶ。	学校池の金魚を教室の水槽で育成するため、汚れた水槽の清掃作業が必要になった。以前は「汚い」と触れなかった汚水を自ら懸命に掃除するようになった。次第に知覚過敏が改善された。また、金魚にとって快適な環境を自ら考え、行動することで金魚のうごきをよく観察するようになった。また、観察と試行、改善を繰り返し、生き物の命を尊重するようになった。はじめは作業学習の授業で金魚飼育について学んだが、単元が終わっても自主的に授業外時間で時間をみつけて自ら水槽掃除を行うようになった。	学校池の金魚 アドバイザー校長 大型水槽 水槽清掃用具（戸外水道ホース スポンジ バケツ 網ボール） クロームブック クラスルーム（校内ホームページ）
2 神奈川県立	高1	技術 (職業) ・家庭	ライフプランニング	・ライフステージの学習を行い、就職や結婚、出産など人生の大きな出来事について学習した。自分自身の将来のイメージや人生設計についての考えることができ、それをグループで共有することで、様々な生き方の理解を深めた。	
3 神奈川県立	中複合	技術 (職業) ・家庭	いのち「健康・栄養」	コロナ禍、かつインフルエンザが流行する時期を迎えるにあたり、自分でできる感染予防対策として手洗いの大切さやマスクのかけ方などについて学習をした。また身近な食べ物を教材として、栄養バランス等について栄養士が講師となり学習した。学習後、給食に使われている食材に含まれる栄養への関心が高まったり、食べ物に感謝をし、好き嫌いせずに残さず食べようとする自覚が強まった。	講師は本校の栄養士。中学部1, 2, 3年で学習した。
4 神奈川県立	中1	技術 (職業) ・家庭	生き物の観察と循環学習	知的障害教育部門中学部1年では、近隣の中央農業高等学校の動物の観察やアヒルを使った稲の栽培の様子を観察し、動物の生態を知るとともに命の営みを体感する機会を設けている。また、動物から排泄される糞を活用して植物を栽培することで、野菜や花の成長に大きな影響を与えることを学んだ。さらに、高校への移動時、幹線道路を横断する必要があり、自分の命を守る学習も併せて行うことができている。	5月から通年で栽培を行っている。夏野菜や夏の花、秋の花、春の花等、種子や球根から栽培している。
5 神奈川県立	中複合	技術 (職業) ・家庭	季節の野菜を収穫しよう（夏、秋、冬）	作業学習では、今の季節にとれるもの、種からどのような成長を遂げて収穫に立ったのかを季節の旬の野菜の成長について知る学習機会を設けた。収穫した野菜、地域の方からいただいたバラや柿、里芋、なしなど授業で関わった身近な植物の特徴や変化に気づき関心を持てるような学習の取り組みを行ってきた。あおばフェスタでは今まで育てた野菜を使って制作や地域の方からいただいた野菜などについての展示も行うことで学習の成果を表現した。	中学部1年、2年、3年農園芸班所属生徒及び担当教員4人。地域の農家からの収穫物など。